

# 富士山！万歳！！

8月24日（月）～8月27日（木）

IN 静岡県立富士山麓山の村～赤岩八号館

	午前	午後	夜
1日目	施設に向け出発・作戦会議	作戦会議・買い出し	最終確認
2日目	富士山に向け出発	八号館に向けて出発	山荘到着・仮眠就寝
3日目	富士山下山開始	五合目以下山	振り返り
4日目	プール	関西に向け出発・解散	

一日目： 各集合場所から集まり、一路富士宮市へ。その間に様々な事を行います。はじめましてばかりのメンバーでお近づきの一步として「名札作り」と自己紹介を行いました。初めはみんな戸惑っておられましたが、名前が分かるとそこから徐々に距離を縮み始め、昼食の時にはメンバー同士話されていました。昼食後は登山に必要な物の買い出しリストを考えました。昨年も登ったメンバーがいるので、その方達から参考の話聞き、そこから何がどれだけいるかを話し合いました。水や食料は当然候補に上がりましたが、「杖」や「お土産」などの意見もありました。そして、そのメモを頼りに買い出しました。施設に到着と同時に雨も降り出し、みんな急いで給食や荷物の運搬を行いました。徐々に一人一人の頑張りを垣間見られるようになってきました。初日の夕飯は自分に打ち「カツ」為の『カツカレー』です。夕食後、入浴を済ませ、作戦会議を開きました。持ち物や服装、買い出した備品の分配を行いました。持ってきた衣類や持ち物がどのような時に必要なかをしっかりと話し合い、全員がイメージ出来るように情報を共有しました。



二日目： 朝から少し緊張気味でスタートしました。朝食配膳組は給食を取りに、それ以外のメンバーはテーブルを並べたり、登山の準備を行ったり、思い思いに、行動されていました。朝食を済ませ登山の準備を行いました。昨夜話し合った持ち物や服装を確認しながらリュックに詰め込みました。そして富士山へ！！曇りで何も見えず、あまりイメージが湧かないまま五合目まで上がりました。すると、眼前に富士山が現れ、歓声と共に緊張が走りました。五合目で体を慣らす事も踏まえ、先に昼食を済ませました。昼食以外にも歩き慣らしたり、夏休みの宿題の為に実験をしたり、それぞれ過ごしました。最終確認とトイレを済ませ、スタートしました。初めは自分達の思うように登ってもらいました。すると、ガンガン進むメンバーや、登り始めから息を切らすメンバー、マイペースでゆっくり登るメンバーと様々でした。六合目にて登り方や注意点、歩き方など細かく話をし、しっかりと隊列を組んでスタートしました。少し歩くと最難関の「宝永山」が見えてきました。すり鉢状になっている為、風の吹き上げが激しく、皆を苦しめました。足場は砂利なのでなかなか踏ん張りが効かず厳しい箇所ですが、幸いな事に雨で砂利の砂や土が固まっており、比較的簡単に登る事ができました。吹き上げる風に対して隊列を縮め、一丸となって進みました。宝永山をクリアすると後は緩やかな登り坂なのですが、この時間から天候が崩れ始めました。その時も自然とカッパを着用し、自分達で考えて登ろうとしている姿から成長が感じられました。七合目を越えた辺りから天候は激しくなりました。寒さと疲れから徐々に足取りも重くなり、ペースが落ちてきた時、みんなの声援が飛び交いました。時には褒め、応援し、叱責し、本音のぶつかり合いが始まりました。そして今回の山荘『赤岩八号館』に到着しました。到着し、着替え、夕飯のカレーをいただきました。おかわり自由という事で、皆たくさん食べました。温かいお茶が身も心も満たしてくれました。食後、明日着る服を確認し早々に就寝しました。もうみんな疲れ切って、布団に入るとすぐに寝息が聞こえてきました。



三日目： 昨夜から続く荒天の為、夜明け前の登頂とご来光は断念する形となりました。朝はゆっくりと就寝し、起きてきたメンバーから朝食をいただきました。空き時間は山荘のスタッフと座談を楽しんだり、地元ラジオに出演させてもらったり、滅多に経験出来ない自然の猛威を感じるために敢えて外で走り回っていたりと各自で楽しみを見つけておられました。天気がおさまってきたので、これを見計らい下山を決行しました。ルートを変更し、富士宮ルートから下りました。登りの経験からみんなの覚悟は顔から十分に伺う事が出来ました。荷物や服装の確認など、自身で入念にされていました。山荘の方々にお礼とお別れを告げ、下山を開始しました。「みんなで帰る」という意識が伺え、「大丈夫？」や「頑張っているー！！」、「気を付けて！！」など、沢山の声飛び交っていました。七合目を越えた辺りで雲が切れ、青空と地上を見る事ができ、歓喜が起こりました。太陽からエネルギーをもらい、気持ちを引き締め直し、一気に下りました。やっと五合目に帰ってきました。予定していた時間より1時間早く帰って来ることが出来、みんな本当に頑張られました。施設に戻ると、富士登山を思い出と残すために自分たちの気持ちを「寄せ書き」と「寄せ絵」で表しました。初めは何をかくか躊躇していましたが、考えがまとまると、一気にかけられていました。夕飯後、今回のキャンプの振り返りを行いました。撮った写真をPCで見ながら、一時一時の自身の想いを思い出してもらいました。そして、この経験から見つけた新しい自分を発表してもらいました。時に涙を流すほど、一人一人、本気で自分とぶつかり、頑張った自分、頑張りたい自分を見つけていました。



四日目： 朝はいつもより早く起床し、起きたらすぐに片付けや荷造りを始めました。起床直後の動きは遅かったですが、富士山に登った事もあり、一度動き始めると一つ一つ確実にこなしていきました。朝食を済ませ、部屋や棟内の掃除を終え、施設を後にしました。目指すはご褒美の『プール』です。天気は曇りでしたが、昨日まで極限の中、ひたすら自分に厳しくしていたので、緊張を解放させ、最高の笑顔で楽しませていました。お昼までとことんプールを楽しみ、再び出発しました。途中のサービスエリアにて昼食を済ませ、次のお楽しみである『お土産購入タイム』を行いました。お土産内容を見ると、自分へのお土産ばかりではなく、家族や友達、待っている方々へのお土産を購入されていました。関西に近づくにつれ、別れを惜しむ声も聞こえ、富士山に登ったことや過酷な環境の中で頑張った事が随分前のように感じているようでした。その中でも「また登りたいなあ〜。」と呟いている方もおられ、この夏の確かな思い出として心に残ったことと思います。



#### <キャンプ総括>

今年は昨年に比べ、かなりの悪天候であり、登山は困難を極めました。それでも山荘まで誰一人めげずに登りきった事を心から誇りに思っています。振り返りの時、登山中の心境を思い出してもらい、メンバー全員に伝えてもらいました。感想や質問に対して応えていただく時、皆自分自身と向き合い、今感じている事を正直に述べられていました。頑張った事、頑張れなかった事、もっと頑張りたい事、様々な想いを伝えておられました。普段の生活からかけ離れ、富士山登頂に全力で取り組んだからこそ得ることができた感情を大事にさせていただきたいです。来年は必ず登頂しましょう!! (竹中 哲郎)